

第29回 KECテクノフォーラム

光技術と次世代通信の最前線

「リアルタイム処理」、「低遅延通信」、「分散AI」。これらを支える新たなネットワーク技術が、いよいよ実装段階に入っています。本講演では、次世代ネットワーク「オールフォトンクスネットワーク」の技術的背景と社会実装に向けた最新の研究、さらにこのネットワークを中核とするIOWN構想における装置開発と制御技術について、第一線でご活躍の方を講師にお招きし、ご講演いただきます。

日時

2026年1月22日(木) 14:00~17:00

参加費 無料

定員 先着 100名

会場 オンライン(Zoomウェビナー)
全国どこからでも参加可能

プログラム

14:00

開催の挨拶

研究専門委員会 委員長

岡村 康行

14:05~15:05

オールフォトンクスネットワークに対する期待と課題

大阪大学 大学院情報科学研究科/D3センター 特任教授

村田 正幸 氏

コンピュータ間エンドツーエンドのオールフォトンクスネットワークは、これまでも繰り返しその実現が試みられてきた。最近、光通信処理と電気処理の融合による光電融合技術の実現によってようやく現実味を帯びてきた。本講演では、オールフォトンクスネットワーク技術の概要と、その応用が期待されるユースケースやサービスとして、クラウドコンピューティングやデジタルツインコンピューティング等について紹介する。また、今後のさらなる発展のために期待される研究開発の方向性について述べる。



15:10~16:00

IOWN構想とその先の世界

NTT西日本株式会社 デジタル革新本部 技術革新部 IOWN推進室 担当部長

小山 晃広 氏

NTTが2019年に提唱した、光を中心とした革新的技術を活用し、高速大容量通信や膨大な計算リソースを提供可能なネットワーク・情報処理基盤の構想であるIOWN(Innovative Optical and Wireless Network)。その概要から技術的な特徴、NTT西日本における取組み、特に大阪・関西万博での活用事例やそのユースケースについて具体的な事例なども交えながら、IOWNで実現する未来のすがたについて紹介する。



休憩 (10分)

16:10~17:00

IOWN All-Photonics Networkの技術開発について

NTT株式会社 ネットワークイノベーションセンタ 光トランスポートシステムプロジェクト
光トランスポートコントロールシステムグループ グループリーダー

島崎 大作 氏

IOWNの基盤となるAPN(All-Photonics Network)は従来ネットワークと比較し高速大容量、低遅延、低消費電力という特徴を有しており、NTTはこれら特徴を活かしたサービスの早期提供、普及拡大を目指している。本講演ではIOWNの概要に触れると共に、その主要な技術分野であるAPNを実現するためのROADM(Reconfigurable Optical Add/Drop Multiplexer)、トランスポンダ、装置の性能を活かしたサービスを運用するためのコントローラ、及び付加価値を提供するシステム等に関する技術開発の取組みを紹介する。



※プログラムは、事情により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

参加方法

1 下記よりお申込みください。



<https://www.kec.jp/seminar/ktf29/>

2 聴講用URLが記載された案内メールが届きます。開催日時になりましたら、聴講用URLからログインし、ご参加ください。

参加にあたって

聴講には、パソコン等の情報端末とインターネット環境が必要です。最新版のZoomアプリでご聴講ください。ウェブブラウザでも聴講は可能ですが、複数端末での聴講はできません。その他注意事項を案内サイトでご確認ください。

主催



一般社団法人
KEC関西電子工業振興センター

協賛

センシング技術応用研究会

お問い合わせ

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター

専門委員会推進部 事務局 河上 茜

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2

☎ publication01@cec.jp ☎ 0774-29-9041